



内閣総理大臣賞受賞 8年ぶり7度目

～書く人の思いと読む人の思いを一つに～

鶴岡市立朝陽第三小学校

朝陽三小の新聞委員が制作している「朝三新聞」が、第63回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで内閣総理大臣賞を受賞しました。今回で8年ぶり7度目の受賞となります。

身近に感じる新聞づくり

新聞の取り組みは1年生から始まります。授業や学校生活の中に新聞づくりを取り入れ、相手に伝える手段の一つとして活用しています。特に、考えたことや分かったこと、疑問などを整理し、絵や文に書き表すことで、まとめる力を育てていきます。また、学級新聞、学年新聞づくりでは、友達同士の結びつきを深めることはもちろん、自主性や計画性、協働性なども養っています。日常生活のさまざまな場面の中に新聞活動を取り入れることで、自然な形で新聞に馴染み、その積み重ねが、内閣総理大臣賞受賞につながりました。

内閣総理大臣賞受賞「朝三新聞」

「朝三新聞」は月2回程度発行の“校内印刷新聞(265×383mm, 2面)”と年6回発行の“タブロイド版新聞(265×385mm, 4面)”があり、新聞委員29名が「書く人の思いと読む人の思いを一つに」を心がけて制作しました。読む人が興味を持つようなアンケートやランキング、インタビューを多く取り入れることで、全員参加型の紙面づくりになっています。

“校内印刷新聞”は、行事等を中心に、学校生活の様子をタイムリーに伝える役割，“タブロイド版新聞”は、学校の Opiniオンリーダーとして、学校をより良くするための課題や成果を知らせ、生活の向上を図っていく役割をもっています。

3S教育と三陽しぐさ

朝陽三小は、伝統的に受け継がれている3つのSがつく活動【新聞(SINBUN)・歌声(SONG)・水泳(SWIMMING)】を大切にしています。

また、江戸しぐさを起源とした「三陽しぐさ」を学校経営の中心に据え、知・徳・体のバランスのとれた、思いやりの心を持った児童(粋で活かな三陽の子)の育成に日々取り組んでいます。



新聞委員会のみなさん



朝三新聞「タブロイド版(右)と校内印刷新聞(左)」



新聞委員会取材の様子

「三陽しぐさ」のポスター

